

株式会社 出石まちづくり公社

決算書類

第 22 期

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日

〔報告事項〕

第22期営業報告（平成31年4月1日～令和2年3月31日まで）

I. 背景と成果

「令和」新時代の我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続き、企業収益が高水準で推移する中、内需の柱である個人消費や設備投資が増加傾向で推移するなど、緩やかな回復が続いている。一方、少子高齢化が進む中で企業では人手不足感が高まっており、その対応が喫緊の課題となっており、日本経済の潜在成長率を高めていくためには、技術革新や人材投資等によって生産性を大幅に向上させるとともに、多様な人材に活躍の場を拓けていくことが重要であるなど、地方においても新たな時代への対応が必要とされています。

そのような状況の中、当地におきましては、2月末までは昨年を上回る来訪観光客の推移であったのですが、3月以降「新型コロナウイルス感染拡大防止」の影響もあり、来訪観光客（前年同月比）25%減となり、2019年度の観光客の入込総数は705,000人（昨年より10,000人減）となり、昨年同様に前年対比を下回り今期も上昇傾向に転じる事は出来ませんでした。

観光センター売店・カフェ部門では、商品・サービス内容の見直し、販売金額の改定等積極的に行い利益率の見直しに努める等、一定の成果がみられました。

トラベル部門では観光誘客に繋がる着地型（タビナカ）観光コンテンツと観光ガイド事業の強化の為、「体験」「体感」できるツアーガイドを企画開発し、国内・海外に向け発信致しました。多くの予約は入ってきていない現状ではありますが、着地型観光元年と位置付け、出石を楽しく過ごして頂ける提案が多数出来るよう、今後も引き続き積極的に取り組んで参ります。

出石永楽館では、昨年同様「落語プラン（落語&館内ガイド）」の団体誘客が好調に推移し、前年対比15.6%増の実績となり、来訪観光客にとって魅力的な空間の提供ができました。

今期の売上に関しましては、2月・3月の新型コロナウイルスの感染拡大の為、全営業部門での影響が大きく250,360,800円（前年対比99%）となり減収、収支につきましては、経常利益9,242,590円、当期純利益6,512,428円（前年対比122.3%）増益という結果となりました。

また、今年度は「日本の小さな城下町・出石」のブランディングストーリーのもと、その施策の柱として出石大手前シンボル活性化事業の検討を各諸団体と進めて参りましたが、豊岡市からも少し時間をかけて検討しては等の提案もあり、構想については結論がまとまらず、令和2年度に予算化される交通量調査・改善計画策定の結果などの内容も確認の上、継続協議をしていきたいと考えております。

今年度も出石地域のまちづくり活動を行う団体を支援する事を目的とした「まちづくり助成金制度」を継続し、厳正な審査のもと5団体に助成金の交付を行い、広くまちづくり活動を支援する事ができました。

今後も各種団体と連携を図りながら、変化の多い時代だからこそ、個別に事業構想やビジネスモデルを策定し、出石のまちづくり発展に貢献できるよう、積極的に取り組んで参ります。

II. 当社の概要 (令和2年3月31日現在)

(1) 資本金

区 分	当 期 末
資 本 金	98,000,000 円

(2) 株式の状況

発行済株式総数	1,960 株
当期末株主総数	340 名

大 株 主	保有株数	持ち株比率
豊 岡 市	400 株	20.40%
NPO 法人但馬國出石観光協会	100 株	5.10%
豊 岡 市 商 工 会	60 株	3.06%

(3) 役員 of 状況

役 職 名	役 員 名
代表取締役社長	大 橋 直 人
代表取締役副社長	森 脇 敬
取 締 役	奥 村 忠 俊
取 締 役	川 見 善 明
取 締 役	川 原 千 尋
取 締 役	山 下 眞
取 締 役	田 中 藤 一 郎
取 締 役	榮 木 健 二
取 締 役	田 中 覚
取 締 役	中 易 裕 明
監 査 役	榮 木 雅 一
監 査 役	永 井 秀 和

(4) 従業員 of 状況

区 分	人 数	構 成
正 社 員	9 人	男性 5 人 女性 4 人
契 約 社 員	3 人	女性 3 人
パ ー ト 社 員	5 人	女性 5 人
合 計	17 人	

シルバー人材センター (派遣)	6 人	男性 6 人
観 光 ガ イ ド	6 人	男性 3 人 女性 3 人

(5) 事業内容

1. まちづくり活性化推進事業
2. 出石観光散策ガイド事業
3. 総合観光案内事業
4. 「いずし観光センター」物産販売事業
5. 「和カフェ」飲食販売事業
6. 「出石びっ蔵」集合貸店舗事業
7. 「大手前駐車場」運営事業
8. 「いずしトラベルサービス」旅行業
9. 「出石永楽館」受託管理運営事業
10. 「旅籠西田屋」簡易宿所事業

(6) 主な地域貢献事業

1. 出石藩きもの祭り協賛	50 万円
2. お城祭り協賛	31 万円
3. 商工会青年部創立 50 周年事業	30 万円
4. 続日本 100 名城選定 2 周年 荻原さちこ氏 歴史講演会	16 万円
5. 出石高校歌舞伎学生優待 74 名	33 万円
6. 出石歴史文化交流館（武家長屋）	14 万円
7. 観光協会パンフレット作成協賛	30 万円
合計	204 万円

(7) まちづくり活動助成金

1. 有子山城跡を登ろう会	有子山城跡景観整備及び自然保護保全活動
2. 寺坂コミュニティー青壮年会	国道 426 号寺坂ストレート道路イルミネーション事業
3. いずしのみらい	2030 年の出石を活性化するいずしのみらい事業
4. 齋藤顕彰会 静思塾	人材育成事業
5. すいっち出石	出石の魅力再発見事業

合計 82 万 2 千円

[決議事項]

第1号議案 第22期計算書類承認の件

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(1) 貸借対照表

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 36,852,484】	【流動負債】	【 14,326,834】
現金及び預金	28,726,596	買掛金	5,302,495
売掛金	375,947	未払金	3,811,438
商品	5,113,247	前受金	76,193
貯蔵品	284,402	預り金	1,443,608
立替金	5,832	法人税等充当金	1,667,700
未収入金	1,586,623	未払消費税	2,025,400
仮払金	759,837	【固定負債】	【 20,838,779】
【固定資産】	【 217,731,305】	長期借入金	16,970,000
(有形固定資産)	(210,739,024)	預り保証金	3,868,779
建物	24,535,061	負債の部計	35,165,613
建物附属設備	10,757,825	純資産の部	
構築物	127,463	【株主資本】	【 219,418,176】
什器備品	618,675	[資本金]	[98,000,000]
土地	174,700,000	[利益剰余金]	[121,418,176]
(無形固定資産)	(1,204,281)	利益準備金	24,500,000
ソフトウェア	1,204,281	(その他利益剰余金)	(96,918,176)
(投資その他の資産)	(5,788,000)	退職給付積立金	5,500,000
出資金	10,000	まちづくり積立金	6,193,000
保証金	3,550,000	別途積立金	75,500,000
保険積立金	2,228,000	繰越利益剰余金	9,725,176
		(うち当期純利益)	(6,512,428)
		純資産の部計	219,418,176
資産の部計	254,583,789	負債・純資産の部計	254,583,789

(2) 損益計算書

(単位：円)

自平成31年 4月 1日

至令和 2年 3月31日

科 目	金 額	
【売 上 高】		
売 上 高	226,418,990	
案 内 等 収 入	1,639,750	
レ ン タ ル 収 入	157,960	
駐 車 場 売 上	22,144,100	250,360,800
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	4,394,310	
仕 入 高	141,878,115	
合 計	146,272,425	
期 末 棚 卸 高	5,113,247	141,159,178
売 上 総 利 益		109,201,622
【販売費及び一般管理費】		103,281,985
営 業 利 益		5,919,637
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	295	
受 取 手 数 料	1,063,350	
雑 収 入	3,393,583	4,457,228
【営 業 外 費 用】		
支 払 利 息 ・ 割 引 料	161,804	
ま ち づ くり 助 成 金	822,000	
ま ち づ くり 積 立 金 取 崩 額	△822,000	
寄 付 金	750,000	
雑 損 失	222,471	1,134,275
経 常 利 益		9,242,590
税 引 前 当 期 純 利 益		9,242,590
法 人 税 等 充 当 額		2,730,162
当 期 純 利 益		6,512,428

(3) 販売費及び一般管理費内訳書

(単位：円)

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

科 目	金 額
役 員 報 酬	1,710,000
給 料 手 当	33,406,581
退 職 金	120,000
福 利 厚 生 費	8,432,887
雑 給	13,098,140
シルバー委託費	5,109,542
広 告 宣 伝 費	2,952,923
運 賃	262,230
燃 料 費	118,645
衛 生 費	650,857
購 読 費	37,587
水 道 光 熱 費	5,507,279
事 務 費	1,198,318
消 耗 品 費	2,742,578
地 代 家 賃	1,200,000
支 払 保 険 料	783,201
修 繕 費	993,406
租 税 公 課	7,472,880
減 価 償 却 費	4,598,679
接 待 交 際 費	1,110,393
旅 費 交 通 費	1,147,311
通 信 費	979,252
支 払 手 数 料	1,911,047
賃 借 料	675,801
諸 会 費	601,225
舞 台 維 持 費	2,210,854
会 議 費	89,839
業 務 委 託 料	2,650,584
雑 費	1,509,946
合 計	103,281,985

(4) 株主資本等変動計算書

株主資本等変動計算書

平成31年 4月 1日
自
至 令和 2年 3月31日

(単位:円)

株式会社 出石まちづくり公社

	株主資本		剰余金		利益準備金		資本剰余金		株主資本		純資産合計
	資本金	資本準備金	資本剰余金	その他の剰余金	利益準備金	利益剰余金	資本剰余金	その他の剰余金	株主資本合計	評価・換算差額等合計	
当期首残高	98,000,000			92,207,748	24,500,000				214,707,748		214,707,748
当期変動額											
剰余金の配当				4,980,000					4,980,000		4,980,000
当期純利益				6,512,428					6,512,428		6,512,428
まちづくり積立金取崩額				4822,000					4,710,428		4,710,428
当期変動額合計				11,714,428					11,714,428		11,714,428
当期末残高	98,000,000			103,922,176	24,500,000				219,418,176		219,418,176

	利益		剰余金		利益準備金		剰余金		利益剰余金	
	利益準備金	退職給付積立金	退職給付積立金	その他の剰余金	利益準備金	利益剰余金	利益剰余金	その他の剰余金	利益剰余金	利益剰余金
当期首残高	24,500,000		4,500,000	5,515,000	73,000,000	9,192,748	116,707,748			
当期変動額										
剰余金の配当		1,000,000		1,500,000						
剰余金の内訳科目間の振替				4822,000						
当期純利益				6,780,000						
まちづくり積立金取崩額		1,000,000		6,193,000						
当期変動額合計		2,000,000		12,375,000						
当期末残高	24,500,000	2,000,000	4,500,000	17,888,000	73,000,000	9,192,748	121,418,176			

(5) 個別注記表

株式会社 出石まちづくり公社

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成している。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

原材料 …………… 最終仕入原価法による原価法

商 品 …………… 最終仕入原価法による原価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 …… 平成10年4月1日以後に取得した建物及び平成28年4月1日以後に
取得した建物附属設備・構築物は定額法、それ以外は定率法

無形固定資産 …… 定額法

収益及び費用の計上基準

原則として収益は実現主義により、費用は発生主義により計上している。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 …………… 税込方式で計上している。

2. 貸借対照表に関する注記

固定資産から直接控除した減価償却累計額の合計額 …… 47,475,828 円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

①当事業年度末日における発行済株式の数 …… 1,960 株

②当事業年度末日における自己株式の数 …… 0 株

③当事業年度中に行った剰余金の処分に関する事項

令和1年6月25日開催の第21期事業年度の定時株主総会で決議

配当金の総額(年1.0%) …… 980,000 円

まちづくり積立金 …… 1,500,000 円

退職給付積立金 …… 1,000,000 円

別途積立金 …… 2,500,000 円

④当事業年度末日以後に行う剰余金の処分に関する事項

令和2年6月20日開催予定の第22期事業年度の定時株主総会で決議予定

配当金の総額(年1.0%) …… 980,000 円

配 当 原 資 …… 利益剰余金

1株当りの配当金 …… 500 円

配当基準日 …… 令和2年3月31日

効力発生日 …… 令和2年6月20日

退職給付積立金 …… 1,000,000 円

別途積立金 …… 4,000,000 円

繰越利益剰余金 …… 3,745,176 円

4. 1株当たり情報に関する注記

1株当たりの純資産額 …… 111,948 円 04 銭

1株当たりの当期純利益金 …… 3,322 円 66 銭